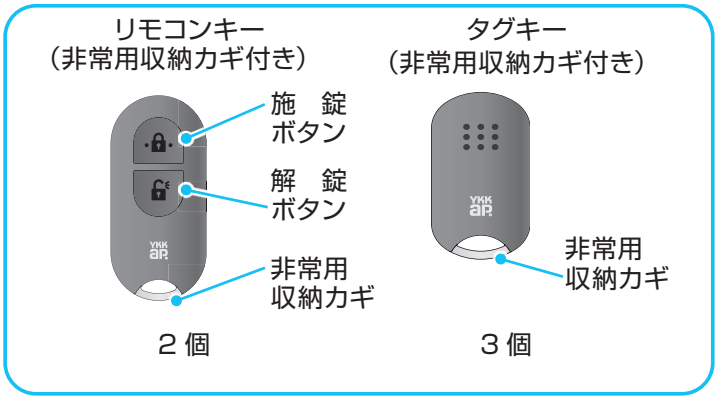
各部の名称

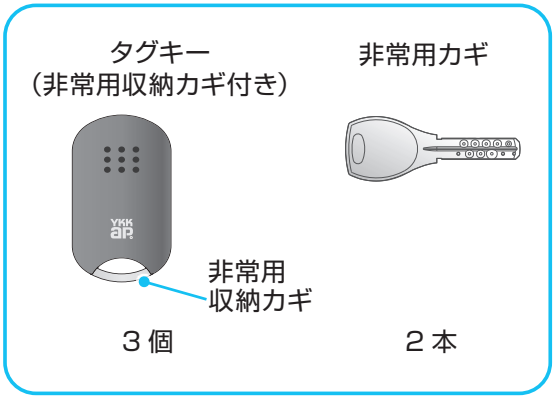
スマートコントロールキーの部品･部材など、各部の名称を示しています。本書を読む前にご確認ください。

■ カギ

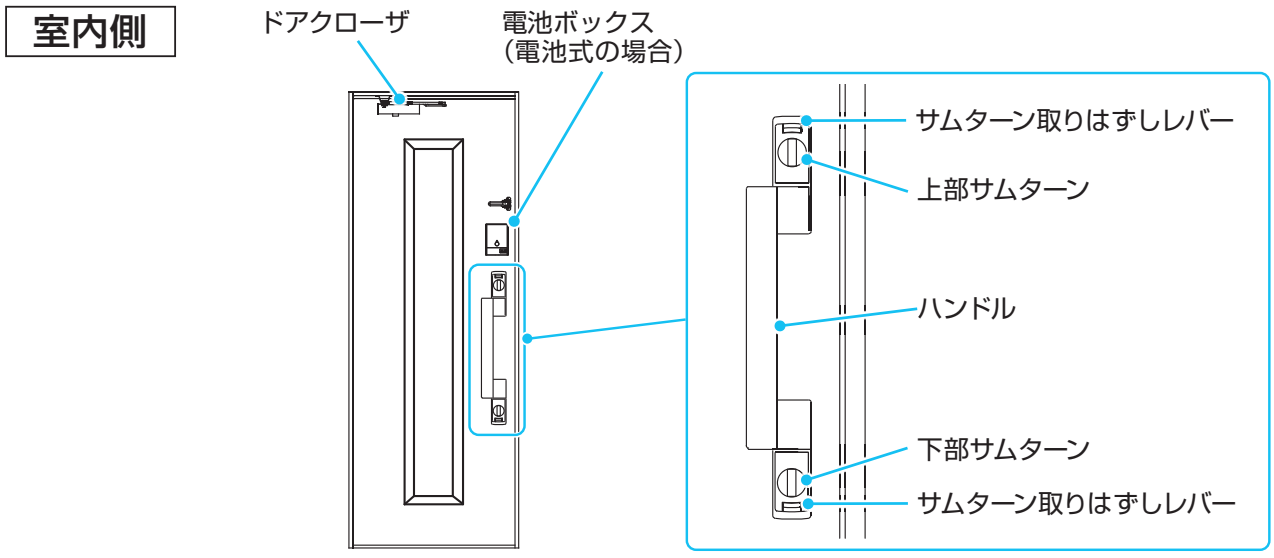
ポケットキー

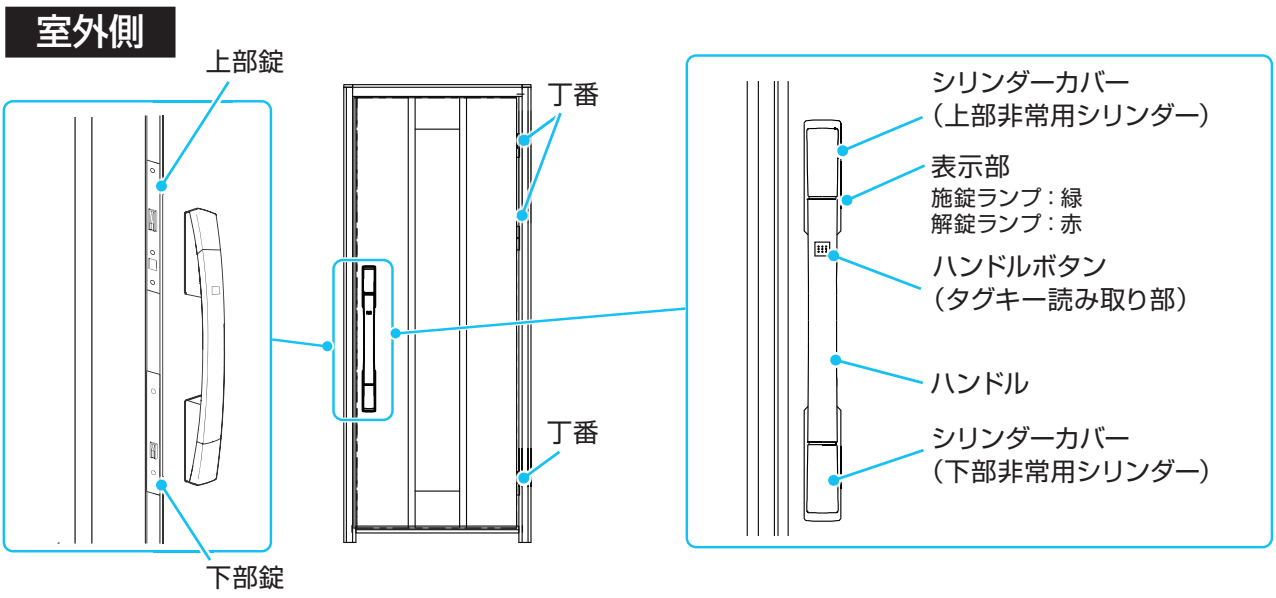


ピタットキー



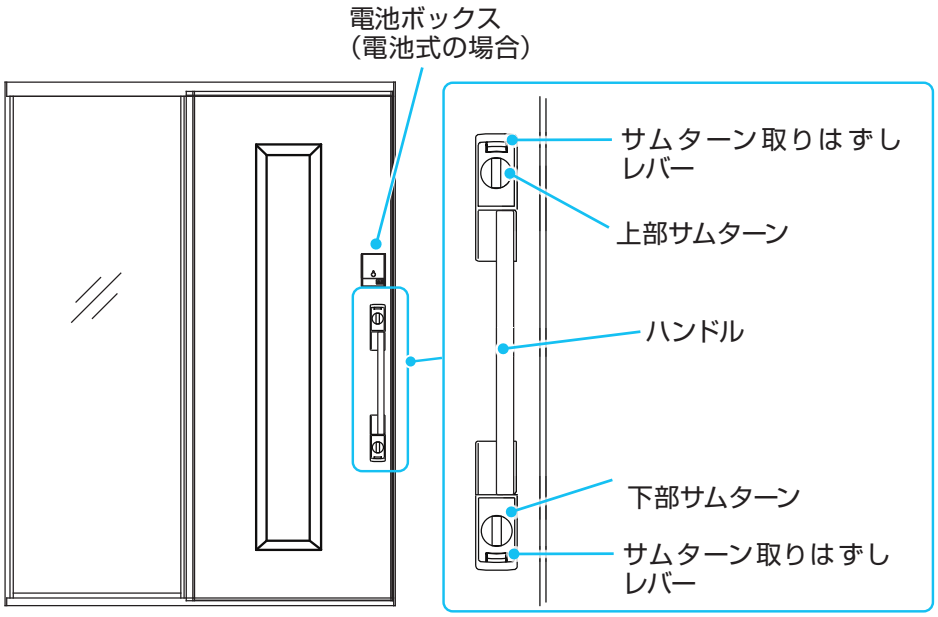
■ 玄関ドア



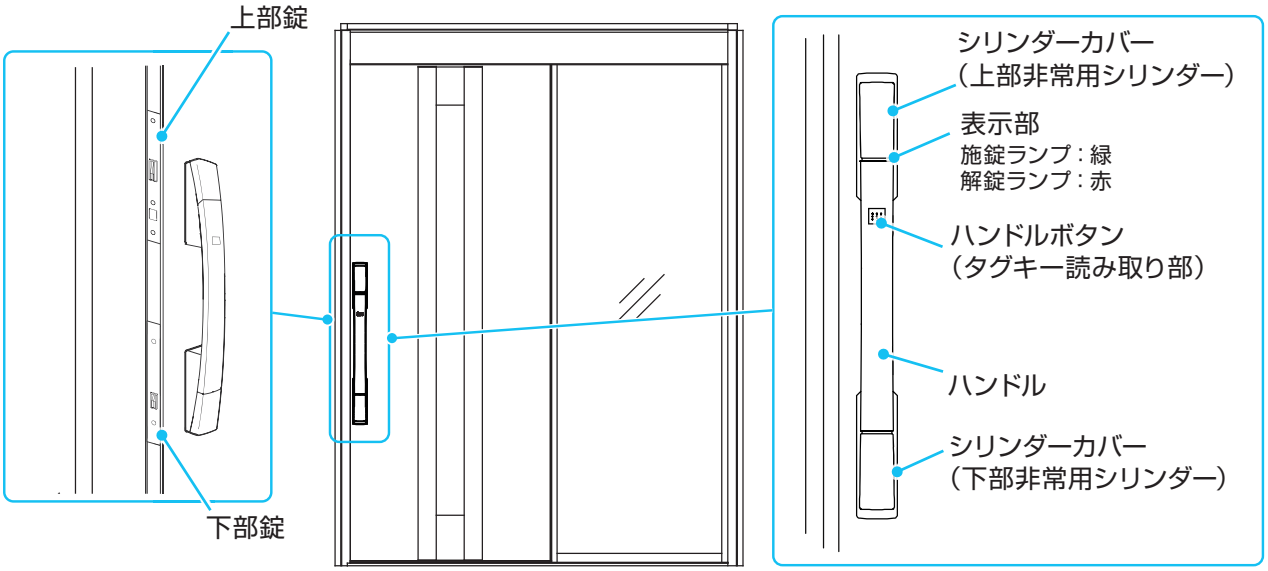


■ スライディングドア

室内側



室外側



安全にお使いいただくために

安全上のご注意

スマートコントロールキーの注意事項

⚠警告

[強制]

植え込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着中の方がタグキーをご使用になる場合は、室外側ハンドルから植え込み型医療機器の装着部位を15cm 以上離してご使用ください。
電波の影響を受けて、誤作動につながるおそれがあります。

[強制]

植え込み型医療機器（心臓ペースメーカーなど）を装着中の方がリモコンキーをご使用になる場合は、事前に電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。

[強制]

植え込み型医療用機器（心臓ペースメーカーなど）を装着中の方がスマートフォン専用アプリ「ｽﾏｰﾄｺﾝﾄﾛｰﾙｷｰ」をご使用になる場合は、室外側ハンドルおよび携帯電話端末（スマートフォン含む）から植え込み型医療機器の装着部位を15cm 以上離してご使用ください。
電波の影響を受けて、誤作動などにつながるおそれがあります。

[強制]

植え込み型医療機器以外に医療用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医療用電気機器メーカーなどにご確認ください。
電波により医療用機器の動作に影響を与える可能性があります。

⚠注意

[禁止]

本製品は総務省の技術適合基準に適合しています。
本製品は総務省の許可なしに改造して使用することはできません。
改造すると法律により罰せられることがあります。

お願い

スマートコントロールキー共通

リモコンキーやタグキー、スマートフォン、ハンドルボタン、その他の操作盤（AC100V 式）などから操作し、サムターンが作動している間は、ハンドルやサムターンを操作しないでください。
サムターンの作動中にハンドルやサムターンを操作すると、錠部品に負荷がかかり、故障するおそれがあります。

リモコンキーやタグキーは電子部品のため、水洗いしたり、濡れた手で操作したりすると故障するおそれがあります。ドア本体の電池ボックスなどの電装部にも水をかけないようご注意ください。

精密な電子部品などを使っていますので、分解や改造をしないでください。

落雷による故障に備えて、避雷器などの設置をおすすめします。（AC100V 式）

タグキー／リモコンキーは電子部品です。故障の原因となりますので、下記のような取り扱いはしないでください。

- 落下させる、ぶつける
- ズボンの後ろポケットに入れたまましゃがむ、座る
- 磁石など磁気を持つものに近づける
- 直射日光の当たる場所に放置する（車中への放置など）
- 暖房器具など高温となる場所へ放置する

スマートコントロールキーは電装商品であり、精密機器です。停電や電池切れ、スマートコントロールキーの誤作動、故障など万一の状況にそなえて、リモコンキー／タグキーは必ず非常用収納カギを取り付けた状態で携帯してください。非常用収納カギを携帯しない場合、閉め出しになるおそれがあります。

下記に示すような家電製品や公共施設が出す電波の影響により、リモコンキーやタグキーの作動範囲がせまくなる場合があります。
また、場合によってはリモコンキーやタグキーが作動しなくなることがあります。

- テレビ、パソコン、電子レンジ、携帯電話、スマートフォン、コードレス電話機、防犯カメラ
- アマチュア無線局、テレビ塔、空港、テレビの送信所、工場、発電所･･･ など

お願い

リモコンキー

ハンドルボタン操作の作動範囲は、室外ハンドルから約20 ～80cmです。
ドア周辺の環境により作動範囲が変わる場合があります。

ハンドルボタン操作の際、リモコンキーが静止しているとハンドルボタンでの施錠／解錠ができなくなります（「■置き忘れ防止機能」(➡P.34)）。リモコンキーを少し揺らしながら操作すると、動きを感知して施錠／解錠します。

ハンドルボタン操作の際、次に示すようなリモコンキーの持ち方をしている場合、体に電波が遮られ、施錠／解錠できない場合があります。

・リモコンキーをリュックサックに入れて背中に背負っている
・リモコンキーをズボンの後ろポケットに入れている
・リモコンキーをカバンなどに入れて腕で覆って持っている
・リモコンキーを手で握りしめて持っている… など

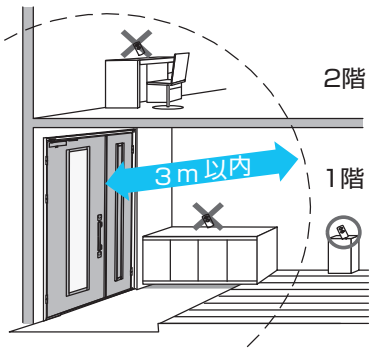
ハンドルボタン操作で、リモコンキーをカバンなどの中に入れてご使用の場合、カバンの材質によっては電波が遮られ、施錠／解錠できない場合があります。

・金属製のアタッシュケース
・アルミシートを使用した保冷バッグ
・金属繊維を編み込んだバッグ… など

ハンドルボタン操作で、次に示すようなものと一緒にリモコンキーを入れている場合、電波が遮られ、施錠／解錠できない場合があります。

・金属製のキーケース
・スマートフォン、スマートフォンケース… など

ドア／スライディングドアから3 m以内にはリモコンキーを保管しないでください。
外部からハンドルボタン操作で解錠されるおそれがあります。



スマートコントロールキーに複数のリモコンキーを登録している場合、ハンドルボタンを押してから施解錠されるまでに時間差があります。登録している順にリモコンキーの信号を確認しますので、登録順が遅いリモコンキーほど反応に時間がかかります。

リモコン操作の作動範囲は、室外ハンドルから約3mです。
ドア周辺の環境により作動範囲が変わる場合があります。

お願い

リモコンキー（つづき）

リモコンキーをカバンやポケットに入れている場合、意図せずに施錠／解錠される場合があります。
・カバンの中でキーホルダーがあたり、「施錠」ボタン・「解錠」ボタンが押される
・かがんだとき、ポケットの中で「施錠」ボタン・「解錠」ボタンが押される･･･ など

複数のドアに同一のリモコンキーを登録している場合、ひとつのドアを操作したつもりでも、他のドアが作動する場合があります。リモコンキーの作動範囲（室外ハンドルから約3m以内）に複数のドアがある場合は、ご注意ください。

リモコンキーにあらかじめ内蔵されている電池は、動作確認用です。電池容量が少なくなっている場合があります。電池交換が必要な場合は、「リモコンキー電池の交換時期と交換方法」（➡P.25）を参照してください。

家電製品や公共施設が出す電波の影響で、リモコンキーが正常に作動しない場合は、
リモコンキーのご使用を停止し、ドアの開閉にはタグキーをご使用ください。
詳しくは、「困った時には」（➡P.164）をご確認ください。

お願い

タグキー

タグキーを下記の状態で使用すると認証できない場合があります。
・他のIC カード・磁気カードと重ねる
・硬貨など金属のものと重ねる
・アルミ箔や金箔などの金属を含んだものと重ねる
・金属製シールを貼付する
・表面が非金属であっても直下に金属、電子基板があるものと重ねる･･･ など

ドア／スライディングドアについての注意事項

⚠注意



［強制］

風の強い時は、ドアやスライディングドアを閉め、必ずロックしてください。
ロックしないと、ドアやスライディングドアが風で急に開閉し、ドアやスライディングドアにぶつかったり、衝撃で破損したりするなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。やむをえず開閉が必要な場合は、ハンドルや引手をしっかり持って操作してください。



［禁止］

ドアやスライディングドアに寄りかかるなど、無理な力をかけないでください。
ドアやスライディングドアが破損し、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

ドアの近くを通る時は、ハンドルにぶつからないようご注意ください。

ドアやスライディングドアの表面や、金属部分は、直射日光などで熱くなる場合があります。
やけどをしないようご注意ください。

外出や就寝の際は、必ずドアやスライディングドアを閉め、すべてのカギを確実にロックしてください。ロック後、ドアやスライディングドアが開かないことを確認してください。

ドアの開閉時の注意事項

⚠注意

[強制]

周囲に人がいないことを確認

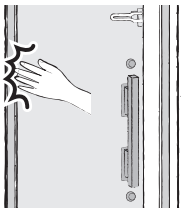
ドアの開閉は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。ドアが人にぶつかったり、ドアで指をはさんだり、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

ドアと枠のすき間に注意

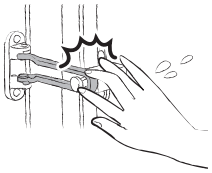
ドアの開閉時に、ドアと枠のすき間に手や足を置かないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

部品のすき間に注意

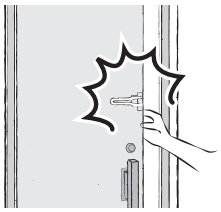
ドアの操作部品や、可動部品のすき間に手を置かないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

ハンドル以外の部位を持って開閉しない

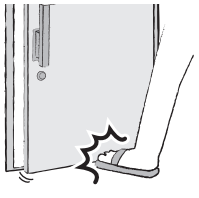
ドアの開閉は、必ずハンドルを持ってゆっくり操作してください。
ハンドル以外の部位を持って開閉すると、指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

ドア下端部のすき間に注意

ドアの開閉時に、ドア下端部のすき間に足を置かないでください。足をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
特に、サンダル履きでの開閉は、ご注意ください。



お願い

ドアの開閉は、ゆっくり静かに行ってください。
無理な操作や誤った操作をすると、ドアを破損するおそれがあります。

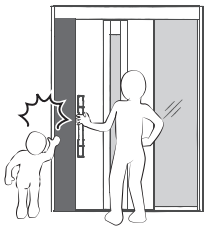
スライディングドアの開閉時の注意事項

⚠注意

[強制]

周囲に人がいないことを確認

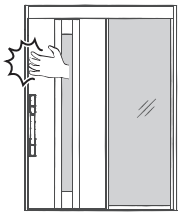
スライディングドアの開閉は、周囲に人がいないことを確認してから行ってください。ドアが人にぶつかったり、ドアで指をはさんだり、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

ドアと枠のすき間に注意

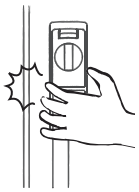
スライディングドアの開閉時に、ドアと枠のすき間に手や足を置かないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

部品のすき間に注意

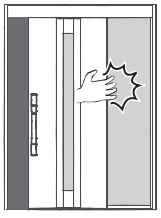
スライディングドアの操作部品や、可動部品のすき間に手を置かないでください。指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

ハンドル以外の部位を持って開閉しない

スライディングドアの開閉は、必ずハンドルを持ってゆっくり操作してください。ハンドル以外の部位を持って開閉すると、指をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。



[禁止]

ドア下端部のすき間に注意

スライディングドアの開閉時に、ドア下端部のすき間に足を置かないでください。足をはさむなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。
特に、サンダル履きでの開閉は、ご注意ください。



お願い

スライディングドアの開閉は、ゆっくり静かに行ってください。
無理な操作や誤った操作をすると、ドアを破損するおそれがあります。

ドア／スライディングドアの調整・お手入れ時の注意事項

⚠警告


［禁止］

はずしたネジは放置しないでください。
そのままネジを放置すると、小さなお子様が飲み込み、
思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

⚠注意


［強制］

周囲に人がいないことを確認し、安全に十分注意して行ってください。
ドアやスライディングドアにぶつかり、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。


［禁止］

調整に必要なネジ以外はゆるめないでください。
商品の不具合や、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。


［強制］

お手入れの際、ドアやスライディングドアの端部や部品の角にご注意ください。
指や手を切ったり、はさんだりするなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

お願い

不安定な台の上などで作業を行わないでください。

指定されたネジ以外は絶対にはずさないでください。
万一、はずしてしまった場合は、すぐにネジを付けてください。

商品を調整する際は、電動ドライバーを使用しないでください。
商品の不具合や破損の原因となります。

電池についての注意事項

⚠危険


[強制]

電池から漏れた液が目や皮膚に付着した場合は、すぐに水道水でよく水洗いして、医師の治療を受けてください。失明や化学やけどなど、重大な事故やけがにつながるおそれがあります。

⚠警告


[強制]

コイン形リチウム電池は、小さなお子様の手の届かないところに保管してください。小さなお子様が、コイン形リチウム電池を飲み込み、化学やけどや粘膜損傷など、重大な事故やけがにつながるおそれがあります。
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師に相談してください。


[禁止]

電池の（+）と（−）を逆にして使用しないでください。
電池が発熱、液漏れ、破裂、発火するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。


[禁止]

新しい電池と使用した電池や古い電池、銘柄の異なる電池を混ぜて使用しないでください。特性の違いにより、電池が発熱、液漏れ、破裂、発火するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。


[禁止]

電池を火の中に入れたり、加熱、分解したりしないでください。
絶縁物などが損傷し、電池が発熱、液漏れ、破裂、発火するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。


[強制]

長期間使用しない場合や、使い切った電池は直ぐに機器から取りだしてください。
そのまま放置すると、電池が発熱、液漏れ、破裂、発火するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。

⚠注意


[禁止]

電池を落下させたり、強い衝撃を与えたり、変形させたりしないでください。
電池が発熱、液漏れ、破裂、発火するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。


[禁止]

電池を水などで濡らさないでください。
電池が発熱するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。


[禁止]

電池が入った機器を高温の場所で使用、放置しないでください。
電池が発熱、液漏れ、破裂、発火するなど、思わぬ事故やけがにつながるおそれがあります。


[強制]

電池を廃棄する場合は、お住まいの自治体の条例に従って廃棄してください。

お願い

電池の種類は、商品仕様をご確認ください。(充電式電池は使用できません。)

- 電池式の場合、電池ボックスの電池が完全に消耗すると作動しなくなります。
- 電池ボックスにあらかじめ入っている電池は、動作確認用です。電池容量が少なくなっている場合があります。電池交換が必要な場合は、「電池ボックスに電池を入れる（電池式の場合）」（➡ P.23）を参照してください。
- 電池ボックスの電池は、単3形アルカリ乾電池を使用してください。（リチウム乾電池も使用可）
- 電池ボックスの電池は、充電式乾電池、またはマンガン乾電池を使用しないでください。誤作動の原因となります。

知っていただきたい現象

日常生活の中で『何かおかしいな…』と感じることがある現象も、商品の不具合ではなく、商品の特性に関連して発生する場合があります。

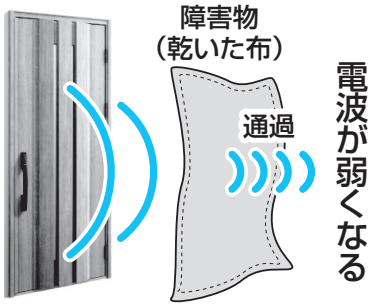
ここでは発生する可能性のある現象について、商品の特性を踏まえて説明しています。

電波の特性について

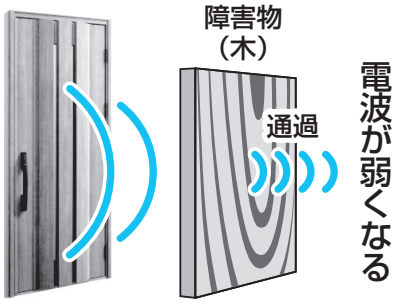
スマートコントロールキーのリモコンキーでの施錠 / 解錠操作では、室外ハンドルとリモコンキーの間で電波による通信が行われていますが、一般的に電波には次のような特性があります。

● 電波は、障害物（乾いた布や木など）を通り抜ける

電波は、障害物の材質によっては通り抜けることができます。
ただし、障害物を通り抜ける度に弱くなる特徴があります。

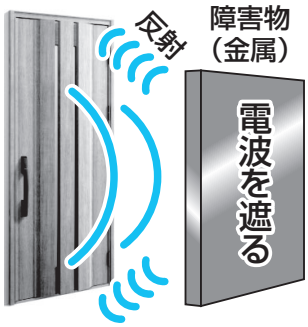


電波が通過する材質例
・乾いた布
・木
・プラスチック
・紙…など



● 電波は、障害物（金属やコンクリート、人の体など）によって遮られる

電波は、障害物の材質によっては遮られることがあります。



電波を遮る材質例
・金属
・コンクリート
・水（人体）…など



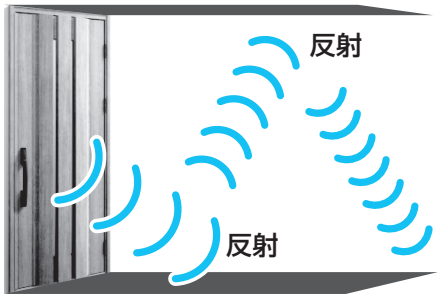
※ 特に金属は電波を反射しやすく、電波を遮断します。

※ 電波を遮る材質・素材として「水」もあります。60%以上が水分と言われる人の体も、電波を遮る障壁となります。

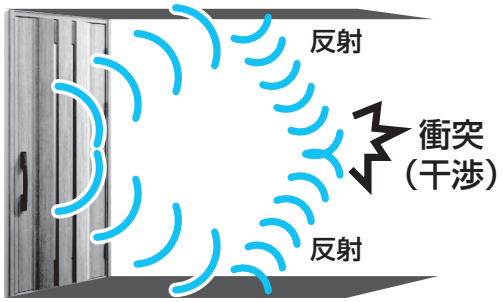
● 電波は、建物などに反射する

電波は、建物の壁や天井、地面などの障害物（特に金属）にあたると反射します。
障害物や電波の周波数によって反射の仕方は変化し、複数方向へ乱反射することもあります。
ただし、電波は反射を繰り返すことでだんだん弱くなります。また、反射した電波同士が衝突し、弱くなることもあります。

〈反射の繰り返し〉

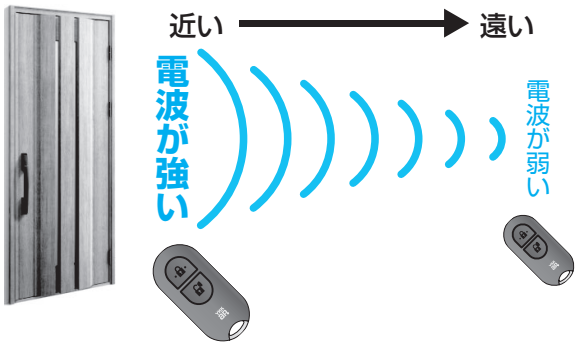


〈電波の衝突〉



● 電波は遠くなるほど弱くなる

電波は、基本的に届くまでの距離が遠くなるほど弱くなります。



リモコンキーの使い方についてのお願い

電波の特性により、次に示すような使い方や環境では室外ハンドルとリモコンキーの間で電波が届きにくくなり、施錠 / 解錠できない場合があります。

① 次に示すようなリモコンキーの使い方や持ち方では電波が届きにくくなり、ハンドルボタン操作での施錠／解錠ができない場合があります。

1）使用者の身体に電波が遮られている
- リモコンキーをリュックサックに入れて背中に背負っている
- リモコンキーをズボンの後ろポケットに入れている
- リモコンキーをカバンなどに入れて腕で覆って持っている
- リモコンキーを手で握りしめて持っている … など

2）電波を遮る材質のカバンなどにリモコンキーを入れている
- 金属製のアタッシュケース
- 金属繊維を編み込んだバック
- アルミシートを使用した保冷バック … など

3）カバンやポケットなどに、リモコンキーと電波を遮る材質のものを一緒に入れている
- 金属製のキーケース
- スマートフォン、スマートフォンケース … など

② 電波の反射や衝突により、場所によっては電波が弱まり届きにくくなり、施錠／解錠ができない場合があります。リモコン操作やハンドルボタン操作をする際の立ち位置を変えて、施錠／解錠できるか確認してください。